

CARECO 特設サイトのご案内

www.c.ecohotline.com

掲載企業のCSRレポートを無料で請求できます。
企業数は208社！請求から3日～5日でお届けいたします！



特設サイトのポイント



一括請求

請求可能企業を一覧で表示。
一括でご請求ができます。



業種別表示

業種別で表示。希望する業種の企業が一目で分かります。

CSRレポートの請求以外にも、過去のCARECOで掲載した巻頭インタビュー記事や「マンガでわかるCSR」など就職活動に役立つコンテンツを掲載！

アンケートに答えてQUOカードをGET!!

就活やCSRに関するアンケートを行っています。ご回答いただいた方の中から、毎月抽選でQUOカード1000円分を5名の方にプレゼントいたします。特設サイトまたは添付のハガキから回答いただけます。ぜひご協力ください。(アンケート締切:2012年3月未まで実施いたします)

※ 当選は発送をもってかえさせていただきます。

特設サイトをぜひご活用ください! 今すぐアクセス!!



発行：株式会社ハートウェイ

〒530-0001 大阪市北区梅田1-11-4-1118 TEL 06-4797-7281 FAX 06-4797-7288

レポートの発送、エコほっとラインへのお問い合わせは 有限会社インフォワード(TEL 06-6471-8800)まで

CARECO

「キャリア」+「エコ」で就職活動をデザインする。

VOL.3

巻頭インタビュー

企業の実態を知るには

CSRレポートが効果的

株式会社カネカ
CSR委員会事務局長
堀内 泰治 氏

特集

CSRレポートのここに注目! (特集編)

アンケートに答えてQUOカードをもらおう!
詳しくは裏面で!



巻頭インタビュー 3
『企業の実態を知るには
CSRレポートが効果的』



株式会社カネカ
CSR委員会事務局長
堀内 泰治氏

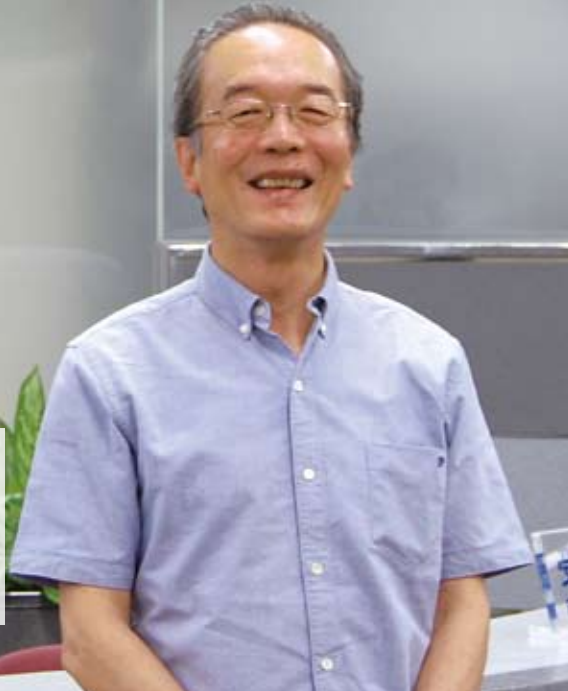
特集 5
CSRレポートのここに注目! (特集編)



企業一覧 9
レポートの請求方法/アンケート

ア行	花王	17
アーレスティ	加藤産業	21
IHI	カネカ	11
あいおいニッセイ同和損保	川崎汽船グループ	20
旭化成	関西国際空港	21
朝日新聞社	関西電気保安協会	20
アサヒグループホールディングス	関西電力	20
朝日ラバー	キッコーマン	16
アシックス	キューピー	16
アステラス製薬	協和発酵キリングループ	18
ADEKA	極洋グループ	16
ANA グループ	クボタ	19
飯野海運	熊谷組	10
イズミヤ	クラレ	16
出光グループ	グンゼ	16
イトーキ	京王電鉄	20
伊藤忠商事	KDDI	21
伊藤忠テクノソリューションズ	京阪電気鉄道	20
イビデン	神戸製鋼グループ	18
イムラ封筒	コカ・コーラウエストグループ	16
宇部興産	国際石油開発帝石	16
エア・ウォーター	コスモ石油	18
SMB C日興証券	コニシ	11
エスベック	コベルコシステム	21
NEC	コマツ	19
NTTグループ	コムシスホールディングス	10
NTTコミュニケーションズグループ	サ行	
NTT データグループ	サカタインクス	17
NTT ドコモグループ	サッポロホールディングス	16
NTT 東日本グループ	サラヤ	17
エルピーダメモリグループ	サントリーホールディングス	10
王子製紙グループ	三洋化成工業	17
大阪ガス	JR 東日本グループ	20
岡村製作所	JSR	17
沖電気工業	JVC ケンウッド	19
奥村組	シスメックス	13
カ行	シチズンホールディングス	20

昭和シェル石油	18	電源開発	14	日本特殊陶業	18	丸紅	21
昭和電工	17	東亜石油	18	日本ハム	11	マンダム	17
昭和リース	22	東京エレクトロン	13	日本マイクロソフト	22	三井化学	17
住友ゴム工業	18	東京応化工業製薬	12	日本郵船グループ	21	三井住友建設	16
住友商事	21	東京ガス	14	日油	17	三井生命	22
セイコーインスツル	14	東京メトロ	15	任天堂	22	三井物産	21
積水化学工業	17	東芝グループ	19	ノーリツ	18	三菱自動車工業	20
積水ハウス	16	東芝ソリューション	21	ハ行		三菱重工業	19
ソフトバンクグループ	21	TOTO	18	パイエル	17	三菱商事	21
損害保険ジャパン	22	東武鉄道	20	ハウス食品	16	三菱ふそうトラック・バス	20
タ行		東邦ガス	20	バクスター	18	三菱マテリアル	12
第一工業製薬	17	東邦ホールディングス	21	ハピネット	21	ミニストップ	21
第一三共グループ	18	東洋インキグループ	17	パンダイナムコホールディングス	20	ミネベア	13
第一生命保険	22	東洋紡	17	日立グループ	19	メロディアン	16
大栄	22	東レグループ	17	日立システムズ	22	ヤ/ラ/ワ行	
ダイキン工業	19	トクヤマ	17	日立ソリューションズ	22	矢崎総業	14
大建工業	20	戸田建設	10	日立ハイテクノロジーズ	21	安川電機	19
大成建設	16	ナ行		日立プラントテクノロジーグループ	16	山武	19
大日本印刷	14	成田国際空港	15	ヒューリック	22	ヤマトホールディングス	20
太平洋セメント	18	南海電気鉄道	20	ファイザー	18	ヤマハ	20
ダイハングループ	19	ニコン	20	藤倉化成	17	ユニ・チャーム	17
太陽生命保険	22	西日本高速道路	22	不二製油	11	横浜ゴム	18
大和証券グループ本社	22	西日本鉄道	20	富士ゼロックス	19	吉野家ホールディングス	22
大和ハウス工業	10	西日本旅客鉄道	20	富士通グループ	19	リコー福井事業所	17
宝酒造	16	ニチレイ	16	ブラザーグループ	19	りそなホールディングス	21
タクマ	19	日清オイリオグループ	16	ブリヂストン	18	リヴァックス	22
竹中工務店	10	日清食品ホールディングス	16	プリマハム	11	リンナイ	19
田辺三菱製薬	12	日本 IBM	20	平和堂	21	レンゴー	17
タムラ製作所	19	日本ガイシ	18	ベネッセホールディングス	22	ローム	19
中外製薬	12	日本化薬グループ	12	HTB 北海道テレビ	22	YKK グループ	13
中国電力	20	日本コカ・コーラ	16	堀場製作所	13	ワコールホールディングス	17
千代田化工建設	16	日本車輛製造	19	ポリプラスチックス	12	(計208社掲載、五十音順敬称略)	
椿本チエイン	19	日本新薬	18	本州四国連絡高速道路	22		
ツムラ	18	日本精工	19	マ行			
T&D 保険グループ	22	日本製紙グループ本社	17	前田建設工業	16		
帝人	17	日本製薬工業協会	18	マツダ	13		
デイリーヤマザキ	15	日本たばこ産業	16	マルハニチログループ	16		



企業の実態を知るには CSRレポートが効果的

インタビュー日：2011年9月22日

株式会社カネカ CSR委員会事務局長 堀内 泰治 氏

就活に臨む学生たちの間で、「CSR(企業の社会的責任)」に取り組む企業に注目が集まっている。世の中に対して良い影響を与え、長期にわたって存続できるのはどのような企業なのか。志望する企業のCSRレポートを読み込んで、企業の実態を把握することは当たり前になりつつあるようだ。

折からの不況と震災の影響で企業の採用者数は減少すると予想される中、内定獲得のためにCSRレポートをどのように活用すればいいのか。カネカで17年間、人事・勤労業務を担当し、2009年からCSR委員会事務局長を務める堀内泰治氏に、CSRの本質や理解するためのポイントを聞いてみた。

企業の使命は「本業での社会貢献」

— CSRとは具体的に何を指すのか分からないという学生が少なくありません。端的にCSRとは何でしょうか。

CSRとは「本業を通じて社会に貢献すること」だと私は考えています。学生さんの中には、CSRイコール社会貢献活動と解釈し、ボランティア活動や寄付行為がCSRだと理解している方もおられます。これらはもちろん大切なことですしCSRの中にも含まれることですが、企業が持続的に果たしていく使命はあくまで「本業を通じた社会貢献」なのだと思います。

— 御社のようなBtoB企業の場合、その「本業を通じた社会貢献」が少し分かりにくい面もあります。

BtoB^{*}企業は、一般の消費者からすると少し地味な

存在ですが、日本の技術力を下支えているのはBtoB企業です。カネカグループは、総合化学メーカーとして衣・食・住・医にわたる広い分野で事業活動を展開していますが、例えば、家庭用ビデオカメラの小型化は、当社の超耐熱性の高機能性フィルム「ポリイミドフィルム」の開発があったから実現しました。最近では、タブレット型PCやスマートフォンの進化にも一役買っています。

CSRレポートでは、こうした本業での社会貢献をいかに分かりやすく紹介するか、各企業が工夫しているところです。当社も読み物風の3つの特集を取り上げていますので、ぜひ注目して見ていただければと思います。

^{*}BtoB：企業間取引のこと。企業と一般消費者の取引はBtoCという

CSRの本質はディスクロージャー

— 広報室長も兼務するお立場ですが、「カネカのCSR」を伝える際に大切にしていることはありますか。

CSRの本質はディスクロージャー^{*}、つまり、いかに会社の活動を公開していくかだと考えています。そこで私は、部下に対して「ものづくりの会社として、社会に役立つものを作っているという“誇り”を持って仕事をしよう」と話しています。我々は素材をつくっている企業なので、その製品そのものが前面に出ることはあまりないのですが、「この自動車のこの部品は私が作ったプラスチックでできているんだ」といった熱い想いとそれを世の中に伝えていくディスクロージャーが重要であると考えています。

ですから、CSR委員会事務局では、社員が自分の仕事が世の中にどう役立っているのかを実感できるように、事業活動と社会との関わりを分かりやすくまとめてイントラ

ネットで発信したり、社外のステークホルダーには、CSRレポートなどの定期刊行物で紹介したりしています。また、兼務している広報関係では、月4回以上ニュース発信することをメンバーに目標化させるなどしています。

^{*}ディスクロージャー(Disclosure)：経営内容などの情報開示のこと

— 広報室で発行している「会社案内」などの媒体とCSRレポートの違いは何でしょうか。

カネカでは、「会社案内」とそのダイジェスト版である「Corporate Profile」を出していますが、これらは基本的に製品と経営に関する数字を紹介することに主眼を置いています。一方、CSRレポートは、企業の実態を知っていただくためのさまざまな情報を載せていますので、学生さんが企業のことを知るには一番効果的な媒体だと思います。

CSRレポートで早めの企業研究を

— では、CSRレポートを読むときのポイントを教えてください。

企業によって考え方は違いますが、当社のレポートでは、ぜひ「トップコミットメント」と「特集」に注目していただければと考えています。トップコミットメントは、2009年に策定した長期ビジョンや中期計画を実現していくための方針・体制など、会社の方向性について社長自らの言葉で語っています。一方、特集は、「お客様」「環境」「地域・社会」の各ステークホルダーと、当社グループの関係性を詳しく紹介しています。特に今回は、各ステークホルダーの代表として3人の方のメッセージを掲載していますので、こちらも読んでみてください。

— 就活中の学生にメッセージをお願いします。

ビジネスマンにとって最も重要なことはコミュニケーション力だと私は考えています。CSRを推進させるためには、さまざまなステークホルダーとの対話が不可欠です。苦しい状況になったとき、それを乗り越えるにはこの力が必要になります。そこで、一度これまでの人生でチャレンジしたことを振り返っていただき、ハードな状況を乗り越えるために周囲の人とどうコミュニケーションしてきたのかを整理しておいていただくと良いのではないのでしょうか。

また、企業研究はできるだけ早い段階からしておくこと

をお勧めします。特に就活の初期段階では、一般的に知名度の高いBtoC企業が選ばれる傾向が強いですが、BtoB企業も含めた広い視野で企業を選択するようにしてください。冒頭で申し上げたとおり、BtoB企業が社会に対してどのように貢献しているのかが、CSRレポートを読めば理解できると思います。

Profile: 堀内 泰治 (ほりうち・やすはる)



1953年、大阪府生まれ。1977年、株式会社カネカ入社。食品事業の営業職を経て、人事・勤労業務を17年間担当。同業務を通じて、多くの学生の就職活動にも関わってきた。現在は広報室長とCSR委員会事務局長を兼務担当。BtoB企業としての企業ブランディングとCSRの推進に取り組んでいる。

DATA: 株式会社カネカ「カネカCSRレポート2011」



2011年版は、ダイジェスト版とPDF版に分けて発行しました。ダイジェスト版は、はじめてカネカに接する方やCSRの概要を知りたい方のために内容を簡潔にまとめ、冊子として発行するとともに、PDF版はすべての開示情報を掲載しています。また、特集ではカネカグループのCSR活動について、ビジネス活動関連とステークホルダーの関心の側面から重要性の高い項目を紹介しています。

CSRレポートのココに注目!

- 特集編 -

CSRレポートのどこに注目して読めばいいのか。トップメッセージをはじめ、特集、ステークホルダー(利害関係者)ごとの取り組み、有識者の第三者意見など、注目したい重要コンテンツは多い。そこで今回は、企業がその年に一番知ってほしいことが反映されている「特集」に焦点を当て、編集部が独自にレビューしてみた。CSRレポートを読む際の参考にしてほしい。

イトーキ「環境・社会報告書2011」

Summary

年齢・国籍・経験を問わず、誰もが快適に利用できる「ユニバーサルデザイン」と、低炭素社会を実現するための「エコロジー」をキーワードに、新たなワークプレイス、ワークスタイルを提案するイトーキの製品・ソリューションについて、12ページの特集を組んでいる。

Review

次世代のオフィス設計コンセプト「モザイク」から生まれたワークステーションシステム「コア&セル」をはじめ、地域材やタスク&アンビエント照明を使ったオフィス作りなど、読ませる文章でイトーキの製品・ソリューションが理解しやすい。製品開発に関わった社員の想いや、ユーザーの実際の声など、ステークホルダーとのコミュニケーションがあればより良い誌面になったのではないかな。



わかりやすさ **4**
 内容の充実度 **3**
 読みやすさ **5**

この冊子の請求は14ページ▶

シスメックス「あんしんレポート2011」

Summary

代表的なCSR活動として1) 同社が開発し、乳がん診療に貢献してきた「リンパ節転移迅速検査システム」の大腸がんへの適用を厚労省が承認 2) アフリカやアジアなどで医療インフラが未整備の地域に対して、現地の医療機関に検査機器を提供-の2テーマを紹介。

Review

1)は、大腸がんリンパ節転移の社会的背景や診断上の課題が分かりやすく解説され、なぜ同社の「リンパ節転移迅速検査システム」が有効なのか理解しやすい。2)は、同社がこれまで取り組んできたグローバルな社会貢献活動が一覧できる内容。補足情報として、どのような方針・目標・計画で提供地域や検査機器を決定しているのかという解説があればなお良かった。

わかりやすさ **4**
 内容の充実度 **4**
 読みやすさ **4**

この冊子の請求は13ページ▶

※ レビューした企業は、エコほっとライン企業一覧の中から無作為に抽出しています。
 ※ 「特集」の表記がないページもあります。その場合は、情報の内容や扱い方を編集部が独自に判断し、特集として選定しています。
 ※ 五十音順/敬称略

大和ハウス工業「CSRレポート2011 ダイジェスト版」

Summary

CSR活動の推進テーマ「共に創る。共に生きる。」の考えに沿って、「理念」のページで「自然と共に住まう」「社会と共に生きる」「地域と共に守る」の3つの取り組みを掲載。人が心豊かに生きる社会の実現に向け、さまざまな事業に取り組んでいることを紹介している。

Review

取り組み事例の写真を見開きページ全体に使用したレイアウトはインパクトがあり、内容がひと目で簡潔に理解できる。例えば、「自然と共に住まう」では、業界初の「生物多様性宣言」に基づいた町づくりが進む分譲住宅地「グランリーフ羽曳が丘」の住宅と緑の町並みが、自然との共生を印象づける。ただ、写真をメインにしたため、内容の充実度が低くなってしまった。



わかりやすさ **4**
 内容の充実度 **3**
 読みやすさ **4**

この冊子の請求は10ページ▶

中外製薬「社会責任報告書CSR'10」

Summary

特集1は「革新的な医薬品をいち早くお届けするために」をテーマに、創薬研究から情報提供までの新薬開発の流れを紹介。各プロセスに携わる社員が、仕事に掛ける想いを語っている。特集2はCO2排出削減など「地球温暖化防止への取り組み」を報告している。

Review

研究者、開発者、製薬研究者、MRの計5名(MRは2名)が登場する特集1では、各プロセスにおける社員が、それぞれの立場で患者さんに対する想いを語っている。いずれの社員にも共通するのは、患者さん第一の視点と仕事への情熱。それが読み手に良く伝わり、好感が持てる内容だ。また、エピソードを通して具体的な実務内容がイメージでき、就活の参考になるだろう。



わかりやすさ **5**
 内容の充実度 **4**
 読みやすさ **3**

この冊子の請求は12ページ▶

帝人「CSR報告書2011」

Summary

ステークホルダーダイアログ※と、2010年度の主なトピックスを集めたニュースフラッシュの2部構成。今回で5回目となるダイアログは、「中国での環境取り組みはどうあるべきか」をテーマに、中国の環境政策専門家3名、帝人の社員6名が参加し議論している。

Review

5回目となるダイアログを海外で実施したことに、CSRに対する帝人の決意が表われている。議論の内容もレベルが高く、中国での「環境の最前線」がよく理解できる。例えば、今の中国ではCO2削減より「環境汚染規制」が重要であり、排出物の「総量規制」も重要な環境政策であることなど。帝人の中国法人がどのような課題を持ち、専門家がそれにどう答えられているのか、精読をおすすめしたい。



わかりやすさ **4**
 内容の充実度 **5**
 読みやすさ **3**

この冊子の請求は17ページ▶

※ 企業の利害関係者が集まり、特定のテーマを議論すること

東京ガス「Tokyo Gas Group Today & Tomorrow CSR・会社案内2011」

Summary

天然ガスをコアとする「総合エネルギー事業」を推進する東京ガス。東日本大震災の発生以降、東京ガスが果たした責任と使命をまとめたトピックス1と、持続可能な未来に貢献するため、エネルギー事業者が果たすべき責任をまとめたトピックス2で構成されている。

Review

震災直後からの同社の動きが時間軸で記載されるとともに、東京ガス管内で地震の揺れが大きかった茨城県日立市や、大津波の被災地である石巻、仙台などでの復旧活動が、現場レポートを交えながら詳述されている。各家庭のガスメーターの復帰方法や、ガスシステム導入による電力負荷の平準化の囲み記事は、読者が今知りたい情報に對し的確に答えているといえる。

この冊子の請求は14ページ▶



わかりやすさ 4
内容の充実度 4
読みやすさ 4

マツダ「サステナビリティレポート2011」

Summary

「環境保全」「人間尊重」「社会貢献」の3つのテーマに関する取り組みについて、現場の第一線で働く社員の声で構成した「ストーリー編」としてまとめている。例えば、「環境保全」では、開発、生産、販売の各現場でさまざまな工夫をしたことにより、環境負荷低減を達成など。

Review

「ストーリー編」というだけあり、読み物として楽しめる内容で、クオリティーの高い写真と、オーソドックスながらシンプルで洗練されたレイアウトにより、「読んでみようかな」と思わせる企画。ストーリー1の「SKYACTIV TECHNOLOGY」の実現に向けた社員の発想力や行動力は、ものづくりの現場でイノベーションが実際にどのようにして起こるのか、という点で大いに参考になる。



わかりやすさ 5
内容の充実度 4
読みやすさ 5

日本ハム「社会・環境レポート2011」

Summary

「『食べる喜び』をお届けするために」をテーマに特集。「お客様視点」で業務に励む営業マンの想いをはじめ、海外で働く従業員の声、海外グループ会社の品質面・環境面に対する取り組み、おすすめ商品の製造工程や商品に込められたこだわりなどを紹介している。

Review

国内外問わず、さまざまな部門で働く17名の社員が次々と登場する誌面は、とても賑やかで親しみを覚える。随所に「環境への取り組み」が記載され、意識の高さも伺える。残念なのは全体の構成が分かりにくい点。例えば、冒頭に商品の流れが図版で示されているものの、登場する社員の順番はランダムで読むときに混乱してしまう。伝えたい情報も少し整理した方が読み手には親切だろう。

わかりやすさ 4
内容の充実度 4
読みやすさ 3

この冊子の請求は11ページ▶



ミネベア「ミネベアグループCSRレポート2011」

Summary

特集1は、小型省エネルギー向け磁石の開発プロジェクトに焦点を当て、技術者5名が奮闘した開発秘話を紹介。また、特集2は、同社グループ最大の生産拠点であるタイのNMBミネベアタイを取り上げ、環境対策や地元の人材育成などCSR活動をj紹介している。

Review

どちらの特集も「ミネベアのCSRとは何か?」が良く理解できる内容。特集1は、なぜ効率の良いモーターの開発が社会への貢献になるのか?という問いに明確に答えている。特集2は、同社のCSRの原点と呼べる活動が、約30年前からNMBミネベアタイで実践されており、CSR活動のさらなる深化に期待が高まる。なお、全体的な文字量は少なくないものの、軽妙な筆致が読み手を飽きさせない。

この冊子の請求は13ページ▶



わかりやすさ 5
内容の充実度 4
読みやすさ 4

この冊子の請求は13ページ▶

ポリプラスチックス「環境・社会報告書2011」

Summary

ポリプラスチックスの顧客である台湾の電子機器受託製造サービス企業Hon Hai社から「戦略的ビジネスパートナー賞」を受賞した。これを受け、Hon Hai社深圳工場の資材調達責任者でディレクターの涂建輝氏にインタビューし、同社に対する評価を聞いている。

Review

Hon Hai社が、同社をメインの製品供給者としてどのように評価し、「戦略的ビジネスパートナー賞」を授与したのかが詳細に書かれていて興味深い。「目の前のお客様に期待以上の提案・製品で貢献し、それがひいては世界中の方々の幸せにつながるこそやりがいです」という同社のコメントはCSRそのもの。社外ステークホルダーからの声(評価)を積極的に載せているのも◎。

この冊子の請求は12ページ▶



わかりやすさ 4
内容の充実度 4
読みやすさ 4

YKKグループ「社会・環境報告書2011」

Summary

持続可能な社会の構築に向け、4つのポイントを掲載。YKKの精神「善の巡環」に基づいたグローバルな事業展開、一貫生産体制の利点を生かした環境政策の推進、「善の循環」を根拠にしたさまざまな社会貢献活動、「自然との共生」を考えた生物多様性の取り組みを紹介。

Review

YKK創業者・吉田忠雄氏の「善の巡環」は、近江商人の「三方よし」や、松下幸之助氏の「企業は社会の公器である」などの考え方と同じく、CSRの本質に通じる。同社がこの精神に基づき事業を展開し、環境や社会貢献活動を実施していることが端的に分かる内容になっている。ただ、特集としては、いささか迫力不足であり、各テーマをもう少し深めても良かったのではないだろうか。



わかりやすさ 4
内容の充実度 3
読みやすさ 4

この冊子の請求は13ページ▶

CSRレポート／社会・環境報告書 企業一覧

掲載している企業のレポートは特設サイトまたは挟み込みの専用ハガキでご請求いただけます。ご請求後、お手元には3～5日程度でお届けいたします。ご利用はすべて無料です。

 レポートの請求方法は以下の2つです。

1. 特設サイトから請求
www.c.ecohotline.com
PCからアクセス。詳細は裏表紙をご覧ください。

2. 専用ハガキから請求
欲しい企業の請求番号と必要事項を専用ハガキに書いて送るだけ。何社でも無料で請求が可能です。

企業一覧の見方

<p>1 熊谷組</p> <p>2 熊谷組グループ CSR 報告書 2011</p> <p>3 </p> <p>4 「信頼」、「誠実」、「社員力」の切り口で CSR 活動を紹介します。お客様、地域社会との信頼を築くコミュニケーション、誠実なものづくりのために心がけていること、その結果いただいた評価、社員力の充実のために取り組んでいることを紹介。特集では、「東日本大震災、そのとき熊谷組は」と題し、地震直後から熊谷組が行った緊急支援状況、仙台空港ターミナルの復旧工事、その他の各地のさまざまな復旧活動、夏季の節電対策などを紹介しています。</p> <p>5 001</p>	<p>1 極洋グループ</p> <p>2 極洋グループ社会・環境報告書 2011</p> <p>3 </p> <p>4 企業名</p> <p>5 レポート名</p> <p>6 表紙画像</p> <p>7 内容の要約</p> <p>8 請求番号</p>	<p>※ 掲載情報は2011年10月1日現在の請求可能企業です。在庫の関係でお届けできない場合や発行年度が変更になっている場合がございます。あらかじめご了承ください。</p> <p>※ 1種類の冊子につき、一冊までのご請求となります。</p> <p>※ 請求番号がない企業はご請求いただけません。また「PDF」と記載されている場合はPDFのみの発行となります。エコほっとラインまたは該当企業のホームページからダウンロードして閲覧ください。</p> <p>※ 送付の際に必要な個人情報はエコほっとラインの個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。</p>
--	---	--

アンケート（専用ハガキ用）

- Q1. 就活で企業を選ぶ際、何を重視しますか？以下のa～jの中から3つまでお選びください。
a. 業種 b. 職種 c. 企業の規模 d. 企業の知名度 e. 給与等の条件面 f. 福利厚生 g. 親・友人・知人の推薦 h. やりがい i. CSR j. その他
- Q2. これまでにCSRレポートを読んだことはありましたか？以下のa～cのうち1つお選びください。
a. 読んだことがある b. 読んだことはないが、レポートのことは知っていた c. 読んだこともないし、レポートそのものも知らなかった
- Q3. CSRレポートを読んだ目的は何ですか？以下のa～eのうち1つお選びください。
a. 会社説明会に持参したいと考えたから b. 企業研究に役立つと考えたから c. 業界研究に役立つと考えたから d. 面接対策に役立つと考えたから e. その他
- Q4. 『CARECO』の誌面で役に立った企画・記事はありましたか？各記事ごとに5段階で評価して下さい。
4-1. 巻頭インタビュー『企業の実態を知るにはCSRレポートが効果的』
4-2. 特集『CSRレポートのここに注目！(特集編)』
4-3. 企業一覧
- [選択肢] a. とても役に立った b. 少し役に立った c. 普通 d. あまり役に立たなかった e. まったく役に立たなかった
- Q5. 『CARECO』で今後読んでみたい企画・記事や要望はありますか？ありましたら自由記述欄にお書きください。

熊谷組

「熊谷組グループ CSR 報告書 2011」



「信頼」、「誠実」、「社員力」の切り口で CSR 活動を紹介します。お客様、地域社会との信頼を築くコミュニケーション、誠実なものづくりのために心がけていること、その結果いただいた評価、社員力の充実のために取り組んでいることを紹介。特集では、「東日本大震災、そのとき熊谷組は」と題し、地震直後から熊谷組が行った緊急支援状況、仙台空港ターミナルの復旧工事、その他の各地のさまざまな復旧活動、夏季の節電対策などを紹介しています。

001

コムシスホールディングス

「COMSYS Group CSR REPORT 2011」



コムシスグループは、ICT を活用して「人と人、人と社会がより豊かにつながる社会づくり」の実現に向けて事業を展開しています。2011 年版の CSR レポートでは、皆さまにコムシスグループの CSR 活動へのご理解を深めていただけるようグループ各社の「事業活動を通じて CSR」を特集としてまとめたほか、ステークホルダー・コミュニケーションの取り組みを紹介しています。

002

大和ハウス工業

「CSR レポート 2011」



CSR レポート 2011 は、当社グループが重視している 6 分野のステークホルダー（社会・環境・お客さま・株主・取引先・従業員）ごとに「実践情報・事例紹介」という二部構成とし、各分野の主要な取り組みをご紹介します。

web サイトでは冊子に掲載されていない取り組みについて詳細にご報告し、「説明責任の完遂」を目指しました。

また、新たに新環境行動計画を策定したほか、東日本大震災における被災地の復興支援として、仮設住宅の建設や物資提供等の取り組み状況を掲載しています。

003

竹中工務店

「竹中 es レポート 2011」



「サステナブル社会の構築への貢献」を 4 つの想い「美しい地球を未来の子供達に遺す」「地域社会の持続的発展に寄与する」「お客様の信頼を得つづける」そして「私たち自身が成長しつづける」ことから捉え、その実現に向けた 12 の取り組みとマネジメント -CSR の実践 - を写真とデータでわかりやすく報告しています。環境メッセージ「人と自然をつなぐ」や 2050 年に向けた長期目標、地球温暖化防止・生物多様性の保全などの取り組みに加え、竹中技術実務研修センター「想（おもい）」のオープン、女性がより活躍できる職場づくりやワークライフバランスを実現するための支援制度なども紹介しています。

004

戸田建設

「戸田建設 CSR レポート 2011」



戸田建設は、CSR（企業の社会的責任）に対する考え方や方針、取り組みをより多くのステークホルダーの皆さまにご理解いただくとともに、CSR 活動のさらなる充実を図ることを目的に、さまざまな媒体を用いて活動報告を行っています。2011 年度は、CSR 活動の中心となる社員にフォーカスすることでより読みやすいレポートを目指した「冊子版（コミュニケーション編）」と、CSR 活動全般を網羅的に掲載し、かつ適時性を考慮して最新の情報も報告する「Web サイト（詳細編）」、環境に関するデータをコンパクトにまとめた「データシート PDF」の 3 つの媒体で情報発信に努めました。

005

サントリーホールディングス

「サントリーグループ CSR レポート 2011」

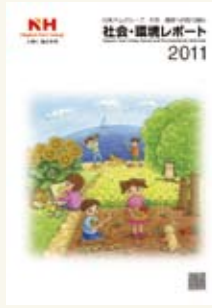


「サントリーグループ CSR レポート 2011」は、持続可能な社会の実現に向けて、サントリーグループが果たすべき CSR（企業の社会的責任）に関する考え方や活動を報告するものです。本年度のレポートは、巻頭にて CSR に対する考え方や近年サントリーグループが特に力を入れて推進してきた活動を紹介するとともに、サントリーグループをとりまくさまざまなステークホルダーの方々への責任と行動をご報告しています。WEB では、冊子よりさらに詳しい情報を掲載するとともに、最新情報やグループ会社の活動、サイトレポート等の情報も掲載しています。

006

日本ハム

「社会・環境レポート 2011」



日本ハムグループでは、社会・環境への取り組みを皆さまにお伝えするため、年度ごとに活動をまとめたレポートを発行しております。レポートでは、商品へのこだわりや営業活動など弊社グループの事業活動全般にわたる活動も合わせて掲載しております。今後も皆様の声を反映させた、より分かりやすい社会・環境レポートを発行していきたいと考えております。社会・環境レポート並びに弊社ウェブサイトをご覧ください。ご意見、ご感想をお寄せ頂ければ幸いです。

007

不二製油

「不二製油 CSR レポート 2011」



私達は「CSR は経営そのもの」として、本業による CSR 活動を進めています。今年初めて掲げた「CSR ビジョン・CSR 活動方針」は、それを見える化したものです。また、当社の特徴をご理解いただけるよう、特集にパーム事業と大豆事業の紹介をしています。本レポートを読んでいただくことでステークホルダーの皆様が不二製油をご理解いただき、双方のコミュニケーションを通して、「二つとない」価値ある企業を目指したいと考えています。

008

東京応化工業

「環境・社会報告書 2011」



本報告書は、東京応化の環境活動および社会に対する責任（CSR）についての考え方やその具体的な活動をまとめたものです。また、今年は東日本大震災への対応、新社長の見解、関東学院大学の福田教授による第三者意見を掲載しています。なお、環境などに関する詳細情報の多くは当社 WEB サイトに掲載していますので、そちらも併せてご覧ください。皆様からのご意見やご感想を今後の当社活動の参考にさせていただきたいと思っておりますので、添付のアンケートでお聞かせいただければ幸いです。

013

日本化薬グループ

「日本化薬グループの CSR レポート 2010」



「日本化薬グループの CSR レポート」は、「環境 / 安全サステナビリティ・レポート」の内容を改編し、今年で 3 年目の発行となりました。昨年版の反省点を踏まえ、当社グループが何を目指し、グループの製品がどのように社会に貢献しているかわかりやすく記載するよう心がけました。また出来るだけ多くの従業員が参画し作り上げるレポートを目指し、従業員の声「Voice」の欄を追加しました。更に、レポート全体を見直し、ページ数を削減して紙資源の有効活用を努めました。

014

プリマハム

「社会環境報告書 2011」



本年度は、まず東日本大震災の発生に伴う当社の対応をご報告するとともに、今年創業 80 周年を迎え、社会において「なくてはならない会社」を目指し、さらなる飛躍に向けて取り組む当社の方向を、新・中期経営計画を交えて紹介しています。また、昨年度のアンケートでお寄せいただいたご意見をふまえ、品質管理にかかわるページなど、よりわかりやすい編集を心がけました。報告書全体を通じては、各現場で活躍する従業員にも焦点をあて、社会・環境面での活動のポイントやその取り組みへの思いを具体的にお伝えするよう工夫しました。

009

王子製紙グループ

「企業行動報告書 2010」



本年は、お客様並びに地域社会の方々に、王子製紙グループが行っている環境経営の取り組みを広く知って頂くために、具体的な取り組みを多く紹介するよう努めました。また、多くのグループ会社および工場を紹介出来るようにも心がけました。特集として「海外植林の推進」「国内社有林の役割」「地球温暖化を考える」を取り上げています。ご一読頂き、王子製紙グループの環境への取り組みに対する理解を深めて頂ければ幸いです。

010

ポリプラスチックス

「環境・社会報告書 2011」



ポリプラスチックスグループは、健全な事業活動を維持するためコンプライアンスをはじめとしたマネジメント体制の強化や地域・社会の一員として環境への配慮を強く意識した取り組みなどを行っており、それらの活動内容をまとめたのが「環境・社会報告書 2011」です。本年は、経営理念の紹介とともに当社の特色をご理解いただけるよう、見やすさ・分かりやすさを重視しました。また、専門用語や社内用語などの難しい言葉をできるだけ分かりやすい言葉に置き換えています。

015

田辺三菱製薬

「CSR レポート 2011」



当社 CSR レポートは、患者さん、医療関係者、株主・投資家、地域社会、従業員など、幅広いステークホルダーを対象に、当社グループが 2010 年度に実施したおもな CSR 活動についてお知らせするものです。今回のレポートでは、「研究開発」「信頼性保証」「生産体制」「供給体制」「情報提供」などのテーマごとに、「医薬品の創製を通じて、世界の人々の健康に貢献する」という当社の企業理念に基づいた具体的な取り組みについて紹介しています。

016

カネカ

「カネカ CSR レポート 2011」

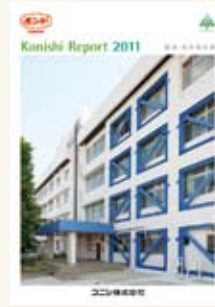


当社は第 1 回の「レスポンスフル・ケアレポート」を 1999 年に発行し、2010 年版から企業の社会的責任にかかわる情報を充実させるために、タイトルを「CSR レポート」と改め発行しています。「2011 年版」では、レポートをダイジェスト版と PDF 版に分け、発行することといたしました。ダイジェスト版は、はじめてカネカに接する方や CSR の概要を知りたい方のために内容を簡潔にまとめ、冊子として発行しています。PDF 版にはすべての開示情報を掲載しています。

011

コニシ

「Konishi Report 2011 環境・社会報告書」



当社は化学物質を取り扱う事業を営んでいるため、早くから環境保全、製品安全、保安防災に力を注いできました。接着剤は暮らしに関わる幅広い箇所で使用されており、目には見えませんが接着剤の機能はさまざまな形で社会や環境保全に役立っています。本年はその一例として、コニシグループで提供する耐震補強工事についての特集企画を掲載しています。少しでもコニシの活動を皆さまにご理解され身近に感じていただけるよう注力しました。同封のアンケートへご協力いただければ幸いです。

012

中外製薬

「社会責任報告書 CSR'10」



中外製薬グループ「社会責任報告書 CSR'10 (冊子版)」では、当社グループの 2010 年の主な取り組みを掲載しています。特集 1 では「患者さんへのわたしたちの想い」をテーマに従業員が日々どのような想いで業務に取り組んでいるのかを、特集 2 では地球温暖化防止への取り組みについてご紹介しています。より詳細な情報についてはウェブサイトに掲載していますので、あわせてご覧いただき、忌憚の無いご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

017

三菱マテリアル

「CSR 報告書 2011」

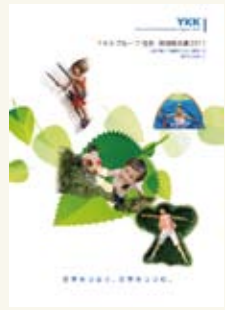


本報告書では、2011 年にスタートした「新中期経営計画 Materials Premium 2013」の概要や、「東日本大震災への対応と復旧・復興支援に向けた取り組み」について掲載しているほか、「9 つの重要課題 (マテリアリティ：企業価値に重要な影響を及ぼす要因)」について、継続的にご報告しています。また、報告内容充実と信頼性向上に向け、「第三者保証」を継続して取得しています。(WEB に掲載する銅事業カンパニーサプリメントデータブックと併せ、GRI ガイドラインへの適用レベルは「A+」)

018

YKK グループ

「YKK グループ 社会・環境報告書 2011」



YKK グループの社会・環境報告書は「正直に、誠実に、継続的に」をモットーに2000年より発行しています。近年は、幅広くたくさんの方々に、この報告書を通じてYKKグループを知っていただきたいという思いから、冊子版は基本的な考え方とその事例を掲載し、Web版で数値情報などを補完する形態としています。今年度は、YKKグループのこれまでの事業展開に自然界との共生範囲を広げることで、さらなる社会への貢献を目指すことを特集として掲載しています。表紙も、「子ども達が自然の中で笑顔で遊べる未来」をイメージしました。

019

ミネベア

「ミネベアグループ CSR レポート 2011」

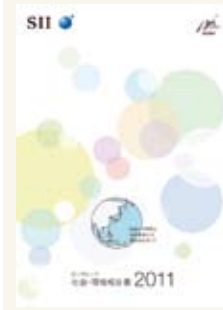


CSR レポートの発行として2年目となる本年度は、ミネベアグループのCSRの取り組みをより一層進めていくために、新たにCSR目標を定めました。CSR目標については、当社グループにおけるCSRに対する考え方、経営の健全性や透明性を維持するための具体的な活動と合わせ「マネジメント報告」の中で報告しています。その他、当社グループの事業において密接に関係するステークホルダーを、お客様、従業員、地域社会・国際社会、お取引先様、株主の皆様、環境として分類し、それぞれのステークホルダーごとに考え方や活動をまとめ、「社会性報告」と「環境報告」として報告しています。

020

セイコーインスツル

「社会・環境報告書 2011」

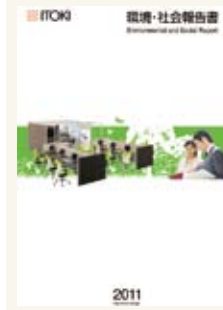


SIIグループ「社会・環境報告書2011」は、SIIグループの社会性や環境への取り組みについて報告しています。本報告書は2011年4月に改定した「SII企業行動憲章」を軸に編集しています。具体的には、【価値の提供】、【公正・誠実な企業活動】、【人間尊重と人材育成】、【社会との共存】、【環境との調和】について、SIIの考え方とCSR活動状況を報告しています。また、ハイライトでは、SIIのグリーンプロダクト plus の考えにもとづいたエネルギーソリューションを紹介しています。是非ご覧下さい。

025

イトーキ

「環境・社会報告書 2011」



イトーキは、企業コンセプト「新Ud&Eco style (ユーデコスタイル)」を追求し、製品、空間、ソリューションの提案により、ステークホルダーの皆様と感動を分かち合う、人も地球もいきいきする社会を目指しています。冊子版は新製品やエコワークプレイスソリューションをはじめ、2010年度の主な取り組みをまとめました。ホームページにすべての環境・社会活動を掲載しています。併せてご覧ください。

026

シスメックス

「シスメックスあんしんレポート 2011」



本報告書は医療・ヘルスケア分野でグローバルに事業展開するシスメックスのCSR活動についてより多くの方々にご理解いただく目的で発行しております。検査を通じ医療に貢献している具体的な活動を掲載し、弊社の健康社会実現に向けた考え方、取り組みを紹介しております。

021

東京エレクトロン

「環境・社会報告書 2011」



本報告書では、東京エレクトロングループの社会的責任への考えと、地球環境や社会に対する取り組みを報告しています。2010年度は、特集ページをより充実させ(「世界の事業展開」「震災復興」「宮城新工場」)、当社グループの環境・社会活動の特徴がより理解しやすい構成としました。皆さまからの忌憚のないご意見、ご感想を差し込みのアンケート用紙にてお寄せいただければ幸いです。2012年3月までに報告書に同封しましたアンケートにお答えいただいた方にもれなくエコバックを贈呈しています。

022

大日本印刷

「DNP グループ CSR 報告書 2011」



DNPグループでは、CSRとは「社会から信頼される企業になる」ことであると定義し、「社会に対して価値を提供する」という企業として最も根源的な責任をきちんと果たすこと、「価値創造のプロセスを公平・公正」に遂行していくこと、さらには、「社会に対して説明責任を果たし、透明性の高い企業になること」が重要だと考えています。本報告書では、これらを実現するさまざまな取り組みについて、ステークホルダーの皆さまから頂戴したご意見や実務担当者からの声とともに紹介しています。

027

矢崎総業

「社会環境報告書 2011」



矢崎グループでは、2002年度に「環境報告書」を発行、翌2003年度には「社会環境報告書」と改称して以来、ステークホルダーへの責任を根本に捉えながら、「社会」と「環境保全」の2つの側面から情報開示を行っています。2011年版では、矢崎グループの環境保全への姿勢をお伝えするため、特集ページとして「創業から70年にわたる環境活動のあゆみ」と、「デジタルタコグラフによるエコドライブ支援の取り組み」を取り上げました。

028

堀場製作所

「Gaiareport2011」



5つの事業部門(自動車・分析・医用・半導体・科学)で展開しているHORIBAの製品・サービスは「環境・健康・安全・エネルギー」と深く関係しています。事業の本流から外れない企業活動が当社グループのCSR活動そのものであり、社会貢献につながると考えています。CSR報告書「Gaiareport(ガイアレポート)」は、HORIBAのCSR活動のエッセンスを凝縮した冊子版と、詳細データやトピックスを掲載したWEB版の2部構成で、HORIBAのCSRに対する考えや活動の報告をしています。

023

マツダ

「マツダ サステナビリティレポート 2011」



2011年度版では、巻頭の「トップメッセージ」に続いて、マツダのCSRの6つの取り組み分野を「ストーリー編」「データ編」という2つの内容で報告しています。「ストーリー編」では、3つの重点領域である「環境保全」「社会貢献」「人間尊重」について、従業員の声を通してわかりやすく説明しています。内容は「SKYACTIVTECHNOLOGY」に取り組んだエンジニアの熱い想い、「マツダの森」での森林保全活動、中国における人材育成への取り組みなどです。

024

電源開発 (J-POWER)

「J-POWER グループ サステナビリティレポート 2010」

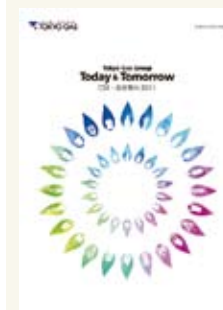


「J-POWER グループ サステナビリティレポート 2010」では、エネルギーと環境の共生をめざすJ-POWERグループの取り組みを「経営編」「社会編」「環境編」の3編にまとめ、特に、企業理念として「日本と世界の持続可能な発展に貢献する」ことを掲げているJ-POWERグループにとって重要なテーマを特集として報告しています。

029

東京ガス

「Tokyo Gas Group Today & Tomorrow CSR・会社案内 2011」



本冊子は、「CSRの取り組み」と「会社案内」を統合し一冊にまとめたものです。今年度のトピックスは「3.11東日本大震災と社会的責任」とし、当社グループが果たした責任と今後果たすべき役割について取り上げています。また、天然ガスの調達からお客さまへの販売・サービスにいたる「LNGバリューチェーン」を通じた社会的責任を中心に、当社グループのCSR重点活動である「保安・防災」「環境」「パートナーシップの構築」の取り組みなどを紹介しています。

030

東京ガス

「環境活動 2011」



この冊子は、環境経営のトップランナーとして、当社グループの環境への取り組みをご理解いただくための説明資料として作成したものです。環境優位性、供給安定性などから今後も重要なエネルギーと目される天然ガス。その特長の解説にはじまり、天然ガスによる再生可能エネルギーの補完や次世代エネルギーネットワークの構想を描きます。その他、ガス販売や機器・エネルギーサービスの販売を通じたお客さままでの省エネ・省CO₂の取り組みや、お客さまへのエコライフのご提案、資源循環や生物多様性の保護など当社グループのさまざまな環境への取り組みを概説いたします。

031

東京メトロ

「社会環境報告書 2010」



本報告書は、お客様、投資家、地域社会など、東京メトロを支えてくださっているステークホルダーの皆様に、東京メトロの社会環境活動への取り組みや考え方を広く発信するためのものです。通算 5 回目の発行となる今回は、特集として「あくなき省エネルギーへの挑戦とさらなる環境配慮を目指す東京メトロの車両」と「地下鉄の安全・安定運行を最前線で支える社員の活躍ぶり」の2つを取り上げました。

032

東京メトロ

「安全報告書 2011」



東京メトロでは、鉄道事業法に基づき、2010 年度に実施した輸送の安全確保に関する取り組みや鉄道運転事故の発生状況と再発防止対策などについて、お客様や関係者の方々に広くご理解いただくため、「安全報告書 2011」を発行しました。本報告書には、輸送の安全の確保に関する基本的な方針、安全管理体制と方法、安全への取り組み状況や実績、鉄道事故等の発生状況、お客様・住民の皆様・関係者との連携等の情報のほか、東京メトロの地震対策と東北地方太平洋沖地震への対応を掲載し紹介しています。

033

成田国際空港

「環境報告書 2010」



成田空港が目指す環境にやさしい空港「エコ・エアポート」への取り組みについて皆様に分かりやすく紹介することを目的として環境報告書を発行しています。環境報告書 2010 の特集では、今年が国際生物多様性年であることにちなみ、成田空港での生物多様性保全への取り組みについて報告するとともに、成田国際空港株式会社や空港関連事業者が進めている最近の環境への取り組みを中心に紹介しています。本報告書に挿入されている読者アンケート用紙にて、皆様の忌憚のないご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。

034

NTT コミュニケーションズグループ

「CSR 報告書 2011」



NTT Com グループでは CSR 基本方針に基づき NTT Com グループとして重要と考えている情報および、社会やステークホルダーの皆さまが必要としている情報を紹介しております。2011 年版は CSR 基本方針である「社会への貢献」「地球環境保護」「人材の尊重」を軸に誰にでも読みやすく、NTT Com グループの活動の概要がわかる内容に構成いたしました。また、ページ数の削減、グリーン電力の使用など、人と地球に優しい報告書となっております。

035

デイリーヤマザキ

「社会・環境レポート 2011」



デイリーヤマザキは焼きたてパン、できたて弁当を提供する店内調理機能「デイリーホット」でお客様のお役に立つお店づくりを進めています。「社会・環境レポート 2011」では東日本大震災におけるコンビニエンスストアの存在意義、募金活動による被災地支援、節電対策をきっかけにしたリーポンプランなどについてお伝えしています。コンビニエンスストアの地域の社会インフラとしての役割がますます大きくなる中、デイリーヤマザキは地域の皆様に信頼される店づくりを目指してまいります。

036

水産・農林業

極洋グループ

「極洋グループ社会・環境報告書 2011」

037

マルハニチログループ

「CSR 報告書 2011」

038

鉱業

国際石油開発帝石

「CSR Report 2011」

039

建設業

奥村組

「CSR レポート 2011」

040

積水ハウス

「Sustainability Report 2011」

041

大成建設

「大成建設グループ CSR 報告書 2011」

042

千代田化工建設

「千代田化工建設 グループ CSR 報告書 2011」

043

日立プラントテクノロジーグループ

「CSR 報告書 2011」

044

前田建設工業

「CSR 報告書 2011」

045

三井住友建設

「CSR レポート 2011」

046

食品

アサヒグループホールディングス

「アサヒグループ CSR コミュニケーションレポート 2011」

047

キッコーマン

「社会・環境報告書 2011」

048

キューピー

「社会・環境報告書 2011 [ハイライト]」

049

コカ・コーラウエストグループ

「CSR レポート 2011」

050

サッポロホールディングス

「CSR レポート 2011 ～自分たちの力を信じて進むこそ企業力～」

051

宝酒造

「緑字企業報告書 2011」

052

ニチレイ

「ニチレイグループ CSR レポート 2011 ダイジェスト版」

053

日清オイリオグループ

「CSR 報告書 2011」

054

日清食品ホールディングス

「日清食品グループ CSR 報告書 2011」

055

日本コカ・コーラ

「サステナビリティレポート 2011」

056

日本たばこ産業

「CSR 報告書 2011」

057

ハウス食品

「ハウス食品 CSR レポート 2011」

058

メロディアン

「環境のあゆみ 2011」

059

繊維製品

クラレ

「クラレ CSR レポート 2011」

060

グンゼ

「グンゼグループ CSR 報告書 2011」

061

<p>帝人</p> <p>「2011年 帝人グループ CSR 報告書」</p> <p>062</p>	<p>東洋紡</p> <p>「東洋紡グループ CSR 報告書 2011」</p> <p>063</p>	<p>東レグループ</p> <p>「東レグループ CSR レポート 2011」</p> <p>064</p>
<p>ワコールホールディングス</p> <p>「ワコールホールディングス アニュアルレポート 2011」</p> <p>PDF</p>	<p>ワコールホールディングス</p> <p>「ワコールの CSR —社会との相互信頼づくり—」</p> <p>065</p>	<p>パルプ・紙</p>
<p>イムラ封筒</p> <p>「株式会社イムラ封筒 環境報告書 2011」</p> <p>066</p>	<p>日本製紙グループ本社</p> <p>「CSR 報告書 2010 ハイライト版」</p> <p>067</p>	<p>レンゴー</p> <p>「環境・社会報告書 2011」</p> <p>068</p>
<p>化学</p>	<p>旭化成</p> <p>「CSR レポート 2011」</p> <p>069</p>	<p>ADEKA</p> <p>「CSR レポート 2011」</p> <p>070</p>
<p>宇部興産</p> <p>「UBE グループ CSR 報告書 2011」</p> <p>071</p>	<p>花王</p> <p>「サステナビリティレポート 2011 —よきモノづくり報告書—」</p> <p>072</p>	<p>サカタインクス</p> <p>「社会・環境報告書 2011」</p> <p>073</p>
<p>サラヤ</p> <p>「環境レポート 2010」</p> <p>074</p>	<p>三洋化成工業</p> <p>「三洋化成 CSR レポート 2011」</p> <p>075</p>	<p>JSR</p> <p>「JSR グループ CSR Report 2011」</p> <p>076</p>
<p>昭和電工</p> <p>「(別冊) 昭和電工 CSR レポート 2011 私たちの CSR」</p> <p>077</p>	<p>積水化学工業</p> <p>「CSR レポート 2011」</p> <p>078</p>	<p>第一工業製薬</p> <p>「環境・社会活動報告書 2011」</p> <p>079</p>
<p>東洋インキグループ</p> <p>「社会・環境活動報告書 2010」</p> <p>080</p>	<p>トクヤマ</p> <p>「CSR 報告書 2011」</p> <p>081</p>	<p>日油</p> <p>「環境報告書 2010」</p> <p>082</p>
<p>バイエル</p> <p>「持続可能な発展報告書 2009」</p> <p>083</p>	<p>藤倉化成</p> <p>「企業活動報告書 2010」</p> <p>084</p>	<p>マンダム</p> <p>「考働レポート 2011」</p> <p>085</p>
<p>三井化学</p> <p>「三井化学グループ CSR コミュニケーション 2011」</p> <p>086</p>	<p>ユニ・チャーム</p> <p>「CSR 報告書 2011」</p> <p>086</p>	<p>リコー福井事業所</p> <p>「環境報告書 2010」</p> <p>PDF</p>

<p>医薬品</p>	<p>アステラス製薬</p> <p>「CSR 報告書 2011」</p> <p>089</p>	<p>協和発酵キリングループ</p> <p>「協和発酵キリングループ CSR レポート 2011」</p> <p>090</p>
<p>第一三共グループ</p> <p>「CSR レポート 2011」</p> <p>091</p>	<p>ツムラ</p> <p>「CSR レポート ツムラ環境・社会活動報告書 2011」</p> <p>092</p>	<p>日本新薬</p> <p>「CSR 報告書 2011」</p> <p>093</p>
<p>日本製薬工業協会</p> <p>「環境報告書 2010」</p> <p>094</p>	<p>バクスター</p> <p>「バクスター 2009 年 サステナビリティ 報告書」</p> <p>095</p>	<p>ファイザー</p> <p>「企業市民レポート 2010」</p> <p>095</p>
<p>石油・石炭製品</p>	<p>出光グループ</p> <p>「CSR レポート 2010」</p> <p>096</p>	<p>コスモ石油</p> <p>「コスモ石油グループ コーポレートレポート 2010」</p> <p>097</p>
<p>昭和シェル石油</p> <p>「サステナビリティ・レポート 2011 ～The Energy Challenge～」</p> <p>098</p>	<p>東亜石油</p> <p>「2011 CSR レポート」</p> <p>—</p>	<p>ゴム製品</p>
<p>朝日ラバー</p> <p>「環境・社会活動報告書 2011」</p> <p>099</p>	<p>住友ゴム工業</p> <p>「CSR 報告書 2011」</p> <p>100</p>	<p>ブリヂストン</p> <p>「CSR レポート 2011」</p> <p>101</p>
<p>横浜ゴム</p> <p>「CSR REPORT 2011」</p> <p>102</p>	<p>ガラス・土石製品</p>	<p>太平洋セメント</p> <p>「CSR レポート 2011」</p> <p>103</p>
<p>TOTO</p> <p>「TOTO グループ コーポレートレポート 2011」</p> <p>104</p>	<p>日本ガイシ</p> <p>「CSR レポート 2011」</p> <p>105</p>	<p>日本特殊陶業</p> <p>「日本特殊陶業グループ CSR 報告書 2011」</p> <p>106</p>
<p>鉄鋼</p>	<p>神戸製鋼グループ</p> <p>「神戸製鋼グループ 環境・社会報告書 2011」</p> <p>107</p>	<p>非鉄金属</p>
<p>アーレスティ</p> <p>「環境・社会報告書 2011」</p> <p>108</p>	<p>金属製品</p>	<p>ノーリツ</p> <p>「環境社会報告書 2011」</p> <p>109</p>

リンナイ 「社会環境報告書 2011」 110	機械	IHI 「IHI CSR REPORT 2011」 111
クボタ 「KUBOTA REPORT 2011 -事業・CSR 報告書」 112	コマツ 「KOMATSU CSR & Environmental Report 2011」 113	ダイキン工業 「CSR 報告書 2011」 114
ダイヘングループ 「CSR 報告書 2011」 115	タクマ 「会社案内 CSR 報告書 2011」 116	椿本チエイン 「つばきグループ コーポレートレポート 2011」 117
日本精工 「CSR レポート 2011」 118	ブラザーグループ 「ブラザーグループ会社案内 2011」 119	三菱重工業 「CSR レポート 2011 (社会・環境報告書) ダイジェスト」 120
電気機器	イビデン 「IBIDEN 2010 会社案内・CSR 報告書」 121	エスベック 「CSR レポート 2011」 122
NEC 「CSR ダイジェスト 2011」 123	エルピーダメモリグループ 「環境報告書 2011」 124	沖電気工業 「社会・環境レポート 2011」 125
JVC ケンウッド 「JVC ケンウッドグループ 社会・環境報告書 2011」 126	タムラ製作所 「TAMURA CORPORATION REPORT 2011」 127	東芝グループ 「CSR レポート 2011」 128
東芝グループ 「環境レポート 2011」 129	日立グループ 「日立グループ サステナビリティ レポート 2011 ダイジェスト」 130	富士ゼロックス 「サステナビリティレポート 2011」 131
富士通グループ 「富士通グループ 社会・環境報告書 2011」 132	安川電機 「環境・社会報告書 2011」 133	山武 「azbil グループ 企業活動報告書 azbil report 2011」 134
ローム 「CSR report 2011」 135	輸送用機器	日本車輛製造 「社会・環境報告書 2011」 136

三菱自動車工業 「社会・環境報告書 2011」 137	三菱ふそうトラック・バス 「環境・社会報告書 2010」 138	精密機器
シチズンホールディングス 「シチズングループ CSR 報告書 2011」 139	ニコン 「ニコン CSR 報告書 2011 ダイジェスト」 140	日本 IBM 「日本 IBM コーポレート・ レスポンスビリティ・レポート 2011」 141
その他製品	アシックス 「ASICS CSR Report 2011」 142	岡村製作所 「CSR Report 2011」 143
大建工業 「CSR 報告書 2011」 144	バンダイナムコホールディングス 「Fun for the future! バンダイナムコ グループの CSR 活動報告 2011」 145	ヤマハ 「CSR レポート 2011」 146
電気・ガス業	大阪ガス 「大阪ガスグループ CSR レポート 2011」 147	関西電気保安協会 「CSR 活動レポート 2011」 148
関西電力 「CSR レポート 2011」 149	中国電力 「2011 エネルギアグループ CSR 報告書」 150	東邦ガス 「環境・社会報告書 2011」 151
陸運業	京王電鉄 「安全・社会・環境報告書 2011 CSR レポート」 152	京阪電気鉄道 「CSR 報告書 2011」 153
JR 東日本グループ 「JR 東日本グループ 社会環境報告書 2010」 154	東武鉄道 「社会環境報告書 2010」 155	南海電気鉄道 「CSR 報告書 2010」 156
西日本鉄道 「CSR レポート 2011 安全・社会・環境報告書」 157	西日本旅客鉄道 (JR 西日本) 「企業考動報告書 2010」 158	ヤマトホールディングス 「ヤマトグループ CSR 報告書 2011」 159
海運業	飯野海運 「経営報告書 2011」 160	川崎汽船グループ 「社会・環境レポート 2011」 161

日本郵船グループ 「日本郵船グループ CSR レポート 2011」 162	空運業	ANA グループ 「アニュアルレポート 2011」 163
関西国際空港 「関西国際空港 CSR 報告書 2011」 164		情報・通信業
NTT グループ 「NTT グループ CSR 報告書 2011」 166	NTT データグループ 「NTT データグループ CSR 報告書 2010」 167	NTT ドコモグループ 「NTT ドコモグループ CSR レポート 2011」 168
NTT 東日本グループ 「CSR 報告書 2010 ダイジェスト版」 169	KDDI 「KDDI CSR REPORT 2011」 170	コベルコシステム 「コベルコシステム CSR レポート 2011」 171
ソフトバンクグループ 「ソフトバンクグループ CSR 便り 2010」 172	東芝ソリューション 「CSR レポート 2010」 173	卸売業
伊藤忠商事 「CSR Report 2011」 174	加藤産業 「環境・社会報告書 2011」 175	住友商事 「社会と環境に関するレポート 2011」 176
東邦ホールディングス 「CSR 報告書 2010」 177	ハピネット 「Happinet Group CSR REPORT 2010」 178	日立ハイテクノロジーズ 「CSR 報告書 2011 ダイジェスト版」 179
丸紅 「Marubeni CSR Report2011」 180	三井物産 「三井物産 CSR レポート 2011」 181	三菱商事 「サステナビリティレポート 2010」 PDF
小売業	イズミヤ 「イズミヤ社会・環境活動レポート 2011」 182	平和堂 「平和堂 CSR 報告書 2011」 183
ミニストップ 「ミニレポ (CSR レポート 2011)」 184	銀行業	りそなホールディングス 「RESONA WAY ～ CSR Report2010 ハイライト編～」 185

証券・商品先物取引業	SMB C日興証券 「CSR REPORT 2011」 186	大和証券グループ本社 「CSR 報告書 2011 特集編」 187
保険業	あいおいニッセイ同和損保 「あいおいニッセイ同和損保 社会的責任 コミュニケーションレポート 2011」 188	損害保険ジャパン 「損保ジャングループ CSR コミュニケーションレポート 2011」 189
第一生命保険 「第一生命の絆」報告書 - DSR レポート 2011 -」 190	太陽生命保険 「太陽生命 コミュニケーションレポート 2011」 191	T&D 保険グループ 「T&D 保険グループ CSR レポート 2010」 192
三井生命 「三井生命 CSR レポート 2011」 193	その他金融業	昭和リース 「環境社会報告書 2010」 194
不動産業	ヒューリック 「CSR REPORT 2011」 195	サービス業
大栄 「環境・社会活動報告書 2010」 196	西日本高速道路 (NEXCO 西日本) 「コミュニケーションレポート 2011」 197	西日本高速道路 (NEXCO 西日本) 「コミュニケーションレポート 2011 (ダイジェスト版)」 198
日本マイクロソフト 「企業市民活動レポート 2010 -echo-」 199	任天堂 「CSR レポート 2011」 200	日立ソリューションズ 「日立ソリューションズ CSR 報告書 2011」 201
日立システムズ (日立電子サービス) 「日立電子サービスグループ CSR 報告書 2011」 202	ベネッセホールディングス 「ベネッセグループ CSR 報告書 BENESSE REPORT 2011」 203	本州四国連絡高速道路 「瀬戸内企業ビジョン」 204
吉野家ホールディングス 「CSR 報告書 2011」 205	リヴァックス 「リヴァックス CSR 報告書 2011」 206	その他
朝日新聞社 「読者とともに 朝日新聞社 CSR 報告書・会社案内 2011」 207	エア・ウォーター 「環境・社会報告書 2010」 208	HTB 北海道テレビ 「地域メディア活動報告書 「ユメミル、チカラ応援レポート 2011」」 PDF